

## きれいな大鷹

- 1 「空を飛べて話ができる  
僕の大切な大鷹  
愛しい人のもとに僕の手紙を運んで  
返事をもってきておくれ」
- 2 「どうしてご主人様の  
愛しい人がわかるでしょう  
声を聞いたことも  
顔を見たこともないというのに」
- 3 「僕の愛しいあの人は  
見ればすぐにわかるはず  
イングランドの花のなかでも  
一番美しい花だから
- 4 「夕暮れ時に愛しい人の部屋の前  
やわらかい樺の枝にとまっていなさい  
愛しい人が教会へ行く時に  
きれいな声でうたっておくれ
- 5 「二十四人のきれいな乙女が  
着飾って教会へ行くけれど  
愛しい人はすぐにわかる  
着物に金の飾りをつけているから
- 6 「二十四人のきれいな乙女が  
ミサに出かけて行くけれど  
愛しい人はすぐにわかる  
髪に金の飾りをつけているから」
- 7 夕暮れ時に愛しい人の部屋の前  
やわらかい樺の枝にとまっていました  
愛しい人が教会へ行く時に  
きれいな声でうたいました
- 8 「皆は食べて飲んでおくれ  
思う存分飲んでおくれ  
私が窓辺に行つて

美しい鳥の歌を聞く間

9

「さあうたっておくれ  
昨晚あなたがうたった歌を  
あなたのきれいな歌を聞いて

愛いとしい人の使いとわかったわ」

10

大鷹は楽しい歌をうたいました  
悲しい歌もうたいました

うたい終わると 灰色の羽毛をついばんで  
恋人からの手紙を渡しました

11

「さあこれがご主人様のお手紙です  
もう三通も送ったとおっしゃいます  
これ以上は待てないと

あなたを思つて死ぬほどです

12

「あなたからの返事をお待ちです  
もう五通も送ったとおっしゃいます  
これ以上は待てないと

あなたは誰よりも美しい方だけど」

13

「あの方に結婚のパンを焼くように  
結婚のエールを醸くるように伝えておくれ  
美しいスコットランドでお会いしましょう  
パンとワインが腐ってしまうその前に」

14

乙女は高貴な父親のもとへ行き  
ひざまずきました

「お父様 お願いがあるのです  
どうか願いを聞いてください」

15

「いってみなさい 愛いとしい娘  
おまえの願いは何でも聞こう  
美しいスコットランドの  
憎い奴のことでないならば」

16

「お父様 お願いはたった一つだけ  
どうか願いを聞いてください  
もしも私が南の国で死んだなら  
どうかスコットランドに埋めてください

17

「スコットランドへの道中 最初の教会で  
吊いの鐘を鳴らしてください

道中 二軒目の教会で  
ミサをあげてください

18 「道中 三番目の教会で  
私のために献金を捧げてください  
道中 四番目の教会で  
どうか夜まで待ってください」

19 乙女はできるだけ急いで  
広い部屋に戻りました  
注意深く眠り薬を調合すると  
一気にそれを飲みました

20 床の上に倒れこむと  
すぐに眠りに落ちました  
間もなく やわらかい手足には  
冷たい死がしのび寄ってきました

21 夜が明けて陽が昇り  
乙女の姿を見た者は  
誰もが 死んでいると思いました  
乙女はまるで死んだように見えました

22 父親と兄たちは  
乙女のために棺を作りました  
半分は高価な金で作り  
もう半分は銀で作りました

23 母親と姉たちは  
ひと針ひと針 経帷子きよつゝかたひらを縫いました  
半分はキャンブリック織りで  
もう半分には刺繍をほどこしてありました

24 スコットランドへの道中 最初の教会で  
一行は吊いの鐘を鳴らしました  
道中 二番目の教会で  
一行はミサをあげました

25 道中 三番目の教会で  
一行は乙女のために献金を捧げました  
道中 四番目の教会で  
乙女の恋人に会いました

26 「立派な棺を下ろしてください  
中の人を見せてください」

さくらんぼのような頬とバラのような唇で  
乙女は寝たまま恋人に微笑みました

27

「パンを切ってちょうだい 愛いとしいあなた  
ワインを注いでちょうだい  
ここ九日というもの  
何も食べていないのだから

28

「お兄さま方 お戻りください  
屋敷に戻ってラッパを鳴らし  
南の国で私のことを自慢して  
あの子のたましっぷりは立派なものだと」

(鎌田明子訳)